

関西医科大学における 業績DBの構築について



関西医科大学附属図書館
井手 貴広

導入の経緯

- 大学として、業績を利用しやすい形で一括管理している部署がない ⇒ この状況を打破したかった……らしい
- 大学がソフトウェアを購入 ⇒ (株)Educeが開発した研究業績プロ(大学の研究者管理、帳票作成ソフトウェア)
- 医学部業績には対応しきれっていない業績入力部分の拡充を図書館が依頼された

機能拡充に際しての注意点

- 医学部業績に即した形で入力できる
 - ・共著者が多く、複数の講座にわたっている
 - ・記事区分の追加、査読の有無
 - ・多様な発表形態、招聘の定義
- 可能な限り入力にストレスを感じさせない
 - ・各種書誌DBからのコピー
 - ・データの共有
 - ・雑誌略誌名、ISSNの自動入力
- 入力データの効率的な利用
 - ・個人調書や提出書類に流用

入力画面例

複数講座関連付け可能

- ・1度のデータ入力で複数講座ごとの業績一覧に表示される

学術雑誌検索
頭文字を選択するか、検索条件を入力し、検索ボタンを押してください。

学術雑誌名頭文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
学術雑誌名	oncog 部分一致する文字(英文・和文)で検索できます。 和文誌名の場合は検索して入力してください。

検索 閉じる 雑誌追加

学術雑誌名を選択してください。

学術雑誌名
[Critical reviews in oncogenesis](#)
[Oncogene](#)

enhancing cell growth as well as PAI-1 and

クリック

複数著者登録可能

- ・1度のデータ入力で複数登録著者ごとの業績一覧に表示される

正式名: Oncogene
略 称: Oncogene
ISSNコード: 09509232/14765594
ハイフン(ー)は取る。
冊子体とE-journalそれぞれにISSNがある場合は半角スラッシュ(/)で区切り冊子体、E-journalの順序で入力してください。

巻・号・頁
巻: 22 号: 15 頁: 2309-2321
頁が複数頁にわたる場合は、ハイフン(ー)スペースなしで区切って下さい。

掲載誌名
Yamada I, Hirose K, Suzuki H, Takahashi G, Tanaka S.

著者・共著者名
学内研究者 研究者の追加

ID	氏名	所属	職種	Author
000000	山田 一太郎	〇〇〇〇第一講座	助教授	☒ 1st 2nd last corresponding
000001	鈴木 花子	〇〇〇〇第一講座	研究員	☒
000002	田中 三四郎	〇〇〇〇第二講座	教授	☒
000003	高橋 五郎	〇〇〇〇第二講座	研究員	☐

削除 上へ 下へ

西暦 2003 年 月

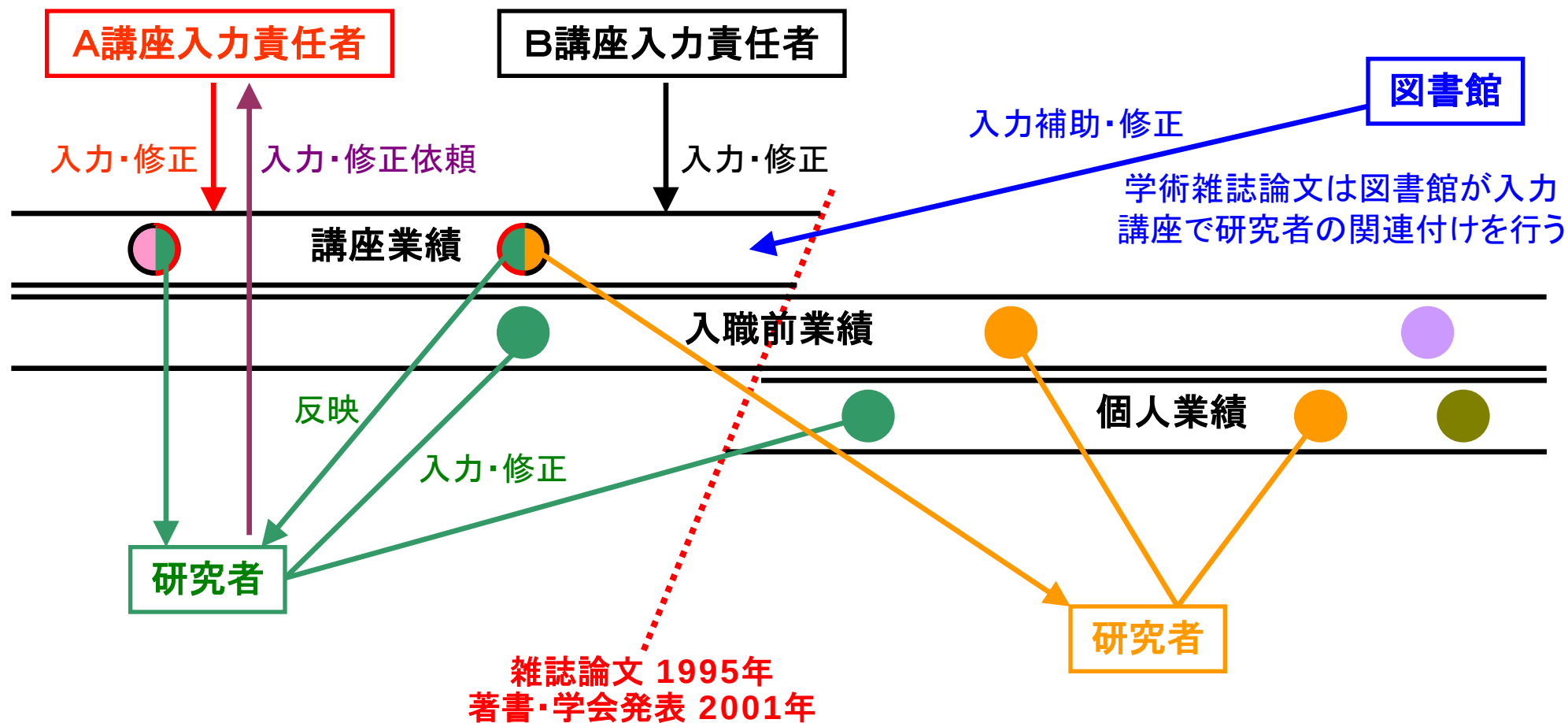
概要
Resistance to growth inhibitory effects of transforming growth factor (TGF)-beta is a frequent consequence of malignant transformation. On the other hand, serum concentrations of TGF-beta, plasminogen activator inhibitor type 1 (PAI-1), and vascular endothelial growth factor (VEGF) are elevated as tumor progresses. The molecular mechanism of autocrine TGF-beta signaling and its effects on PAI-1 and VEGF production in human hepatocellular carcinoma (HCC) is unknown. TGF-beta signaling involves TGF-beta type I receptor-mediated phosphorylation of serine residues within the conserved SSXS motif at the C-terminus of Smad2 and Smad3. To investigate the involvement of Smad2 and Smad3 in TGF-beta signaling, we generated a series of Smad2 and Smad3 mutants in which the SSXS motif was replaced by various amino acid sequences. These mutants were transfected into HCC cells, and their effects on TGF-beta signaling and VEGF production were examined. The results showed that the SSXS motif is essential for TGF-beta signaling and VEGF production. This suggests that the SSXS motif is a critical site for TGF-beta signaling and VEGF production in HCC cells.

DOIコード
10.1038/*****

文献番号
12700666

最終更新
-

データ構造



業績DB導入のメリット

- 大学の研究業績を1つに集約することができる
 - 講座ごとに持っていた業績をまとめることができる
⇒ 誰かが1度(正しく)入力すれば講座反映される
 - 各種書類に対応可能
 - 文科省教員活動状況調査 ⇒ 事務局の負担軽減
 - 大学基準協会調査書類
 - 研究者個人の履歴書・申請書
 - 講座単位での業績集を作成可能 ⇒ 教員の負担軽減
- 等...

業績DB導入後の課題

- データ入力が他講座(他人)に影響される
- 研究者の関連付けがなされないことがある
 - ⇒ 研究者にとっては未入力と同じ
- 図書館が選定したDBではない
 - ⇒ 保守・サポートが必須で、毎年費用が発生する
 - ⇒ カスタマイズが全て業者任せになるため、拡張の調整が難しくなる

業績DB導入後の課題 機能的側面

□ 詳細な検索機能の必要性

⇒ 業績データだけではなく、人事情報や研究者DBまでカバーしている検索フォーム

□ 充実したデータエクスポート機能

⇒ 現状は年単位、講座単位のExcelエクスポートだけなので、上記検索結果を必要に応じてデータ指定して取得できるような形